

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】

(平成23年度～平成26年度)

平成24年度実施結果・評価

平成25年5月

仙台市交通局

目次

下線は重点取組項目

1	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備	
①	<u>バス路線の再編（見直し）</u> （経営企画課・輸送課）	1
②	<u>IC乗車券の導入（見直し）</u> （IC乗車券推進室）	2
③	新たな運賃制度の検討（見直し）（経営企画課）	3
④	モビリティ・マネジメントの推進（見直し）（経営企画課）	4
⑤	運行効率上の観点からの民間バス事業者との調整（輸送課）	5
2	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上	
(1)	安全・快適なサービスの提供	
①	安全運行に対する職員の意識と技術の向上（業務課）	6
②	常時記録型ドライブレコーダーの導入（見直し）（業務課）	7
③	接客教育の充実による接客サービスの向上（業務課）	8
④	低公害バス及びノンステップバスの導入（見直し）（整備課）	9
⑤	バス待ち環境の向上（見直し）（輸送課）	10
⑥	「バスちかサポーター」制度の推進（経営企画課）	11
(2)	便利で利用しやすいサービスの提供	
①	<u>IC乗車券の導入（再掲）（見直し）</u> （IC乗車券推進室）	2
②	お客様のニーズに対応した新たな乗車券の導入（見直し）（経営企画課）	12
③	お客様のニーズに対応したダイヤ等の設定（輸送課）	13
④	ホームページなどを活用した情報配信の充実（見直し）（経営企画課）	14
⑤	「どこバス仙台」のサービスのあり方の検討（輸送課）	15
3	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開	
(1)	増客・増収に向けた取り組み	
①	新たな運賃制度の検討（再掲）（見直し）（経営企画課）	3
②	お客様のニーズに対応した新たな乗車券の導入（再掲）（見直し）（経営企画課）	12
③	お客様のニーズに対応したダイヤ等の設定（再掲）（輸送課）	13
④	広告料収入の確保（見直し）（経営企画課）	16
⑤	市営バスのイメージアップ（見直し）（経営企画課）	17
⑥	モビリティ・マネジメントの推進（再掲）（見直し）（経営企画課）	4
⑦	バス事業資産の有効活用（追加）（業務課）	18
(2)	経費削減に向けた取り組み	
①	<u>管理の委託の更なる拡大</u> （輸送課）	19
②	管理の委託契約の見直し（追加）（輸送課）	20
③	バス車両整備業務の委託推進（整備課）	21
④	バス車両修繕業務等の見直し（追加）（整備課）	22
⑤	バス車両にかかる投資額抑制に向けた検討（見直し）（整備課）	23
⑥	乗務員の労働条件の見直し（総務課）	24
⑦	庁舎における電気・ガス・水道使用量の節減（見直し）（財務課・業務課）	25
⑧	被服貸与の見直し（総務課）	27
⑨	外郭団体委託業務の見直し（見直し）（総務課）	28
⑩	営業所等の維持管理業務委託にかかる契約方法の見直し（追加）（業務課）	29
⑪	カード乗車券の委託販売手数料の見直し（追加）（業務課）	30
⑫	任意保険料の削減（追加）（業務課）	31
⑬	運行効率上の観点からの民間バス事業者との調整（再掲）（輸送課）	5
(3)	組織の活性化に向けた取り組み	
①	乗務員の確保などの検討（総務課）	32
②	業務への意欲を高める取り組み（総務課・業務課）	33
③	良好なコミュニケーションの確保（業務課）	34
4	市営バスとしての災害対応力の強化（追加）	
①	<u>災害時における運行体制の確保（追加）</u> （業務課・輸送課）	35
②	災害に強い通信手段の確保（追加）（業務課）	36
③	災害時における情報提供体制の充実（追加）（業務課）	37
④	災害訓練の実施（追加）（業務課）	38

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	1-①
事業名	バス路線の再編(経営企画課企画係、輸送課運行計画係)
大区分	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	本市では「せんだい都市交通プラン」(平成22年11月)に掲げているとおり、地下鉄東西線開業に合わせて、定時性・速達性に優れ、都市交通の基軸となる鉄道の利用圏域を拡げるため、バス路線の再編を行い、鉄道にバスが結節する交通体系を構築することとしている。交通局では、この方針に賛同する立場と利便性向上の観点からバス路線のフィーダー化(駅への結節)を基本に路線再編を行う。			
事業内容	「せんだい都市交通プラン」に掲げるバス網パターンを基本に、路線再編案の策定を行う。また、市内東部のバス路線については、「仙台市震災復興計画」におけるまちづくりとも連携しながら再編に取り組む。平成25年度内には、都市整備局を中心として「路線再編計画」を策定し、ダイヤ編成に着手するなど東西線の開業に備える。			
目標	バス路線の再編により、本市が目指す鉄道を中心とした交通体系を構築し、通勤・通学利用者などの利便性向上を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・バス路線再編案の検討(震災復興計画との調整を含む)	・利用実態の調査、分析 ・バス路線再編案の検討(震災復興計画との調整を含む)	・バス路線再編計画の決定	・ダイヤ改正など実施に向けた準備
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・バス路線再編案の検討(震災復興計画との調整を含む)	・利用状況調査の実施 ・バス路線再編案の検討(詳細)		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	バス路線再編について、庁内の関係課で構成する「バス路線再編検討会」の場などにおいて、平成25年度の路線再編計画策定に向けたスケジュールの確認や協議を行った。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	関係部局との協議を踏まえ、バス路線再編計画策定に向けてより詳細な検討を行い、運行ダイヤのシミュレーションを行うとともに、利用者の利用実態を把握するため「バス利用状況調査」を実施した。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	利用状況調査の結果を踏まえ、利用実態に合わせてバス路線再編計画策定の検討を進めるほか、他事業者との調整が必要な路線については協議を行う。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	1-②
事業名	IC乗車券の導入(IC乗車券推進室推進係)
大区分	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	ワンタッチでの乗降をはじめ、利便性の高いサービス展開が可能な「IC乗車券」を導入して、お客様の利便性を向上させ、公共交通の利用促進を図る。			
事業内容	平成27年度の開業に合わせて地下鉄東西線に導入する予定のIC乗車券について、市営バスにおいても、同時期の導入を目指し、着実な準備を進める。平成26年度に先行して導入する予定の地下鉄南北線も含め、バスと地下鉄が一体的にIC乗車券を導入することにより、スムーズな乗り継ぎと運賃支払が可能となる。			
目標	平成24年度にIC乗車券のシステム発注を行い、平成26年度の南北線への導入、平成27年度の東西線・市バスへの導入に向け、システムの構築を進める。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・事業関係者とのシステム発注に向けた協議	・IC乗車券システム発注 ・IC乗車券システム構築	・IC乗車券システム構築	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・事業関係者との協議を行い、次年度に予定されているシステム発注に必要なコンセンサスが得られた。	・IC乗車券システムの各システムの発注・契約締結を行った。 ・各システム構築の為メーカーと打合せを行いシステムの仕様を決定した。		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	宮城交通(株)を始めとした関係者との打合せを行うとともに、コンサルタントを交えて、システム構築に必要な仕様書等の作成を行った。その結果、システム発注作業に必要な事項については、ほぼ方向性が固まった。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	総合評価一般競争入札により、IC乗車券システムを構築するメーカーを決定した。その後、12月末に各システムに共通する仕様を確定させ、システム開発を開始した。また共通仕様書、機能設計書などの作成が完了した。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	平成26年度の地下鉄南北線導入に向けては、各構築メーカー間をまたいだ総合試験等を行うとともに、IC乗車券の名称・デザインなども決定する。 平成27年度の地下鉄東西線開業に合わせて東西線、市バスへの導入に向けては、引き続き宮城交通(株)との協議を行うほか、各メーカーとシステム構築、試験の準備を進める。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	1-③
事業名	新たな運賃制度の検討(経営企画課企画係)
大区分	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	バス路線の再編により運賃負担が増加する利用者の負担軽減を図るため、乗継割引制度の拡充など利用しやすい運賃のあり方について検討を行う。			
事業内容	乗継割引制度の拡充など、利用しやすい運賃のあり方について関係部局や民間バス事業者とともに検討を行う。検討に際しては、利用者の利用実態を調査、分析のうえ、バスと地下鉄の利用促進につながる利便性の高い制度の構築を目指す。			
目標	利用しやすく利便性の高い運賃制度を構築することにより利用促進を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市の事例調査	・他都市の事例調査 ・利用実態の調査、分析	・導入方針の決定	・制度周知など実施に向けた準備
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市の事例調査	・他都市の事例調査(各都市の乗継割引制度等) ・バス・地下鉄利用状況調査の実施		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	運賃制度の検討に際し、他都市の事例調査を行うとともに、収支への影響について試算を行った。また、庁内の関係課で組織する「バス路線再編検討会」の場において、路線再編の検討とともに運賃制度の見直しについても検討を行った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	他都市におけるバス・地下鉄の運賃制度の調査を行うとともに、バス・地下鉄の利用者の利用実態を把握するために利用状況調査を実施し、乗継割引制度の拡充など運賃制度の見直しを実施した場合における利用者及び乗車料収入への影響分析を開始した。また、関係部局とバス路線再編の検討に合わせて運賃制度の見直しについても協議を行った。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	関係者間で協議を進め、新たな運賃制度案を具体的に固める。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	1-④
事業名	モビリティ・マネジメントの推進(経営企画課企画係)
大区分	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	行政(仙台市)と連携しながら、クルマから公共交通へ利用転換を促すためのモビリティ・マネジメントの施策を積極的に展開し、地下鉄東西線開業及びバス路線再編後においても、引き続き市営バスを利用していただくための環境づくりに努める。			
事業内容	本市が実施する「せんだいスマート」との連携・協力や、「学都仙台 市バス(+地下鉄)フリーパス」の一括販売(主な大学の新入学生を対象に交通局が行う取り組み)などのモビリティ・マネジメントの取り組みを行う。			
目標	モビリティ・マネジメントの取り組みを通じて、クルマから公共交通への利用転換を促し、地下鉄東西線開業及びバス路線再編後においても、引き続き市営バスを利用していただくための環境づくりを行う。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・せんだいスマートとの連携、協力 ・フリーパス一括販売枚数 1,200枚	・せんだいスマートとの連携、協力 ・フリーパス一括販売枚数 1,200枚	・せんだいスマートとの連携、協力 ・フリーパス一括販売枚数 1,300枚	・せんだいスマートとの連携、協力 ・フリーパス一括販売枚数 1,400枚
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・せんだいスマートとの連携、協力	・せんだいスマートとの連携、協力 ・フリーパス一括販売枚数 880枚		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	せんだいスマートの取り組みである「大学交通情報マップ」へのバス路線の掲載内容などについて、都市整備局と連携しながら大学側と協議を行った。また、平成24年4月の「学都仙台 市バス(+地下鉄)フリーパス」一括販売に向けて、大学の事務担当者との日程や販売手続き等について協議・調整を行った。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	せんだいスマートの取り組みである「大学交通情報マップ」へのバス路線の掲載内容について、都市整備局と連携しながら大学側と協議を行った。また、平成24年4月に「学都仙台 市バス(+地下鉄)フリーパス」の一括販売を行った(販売枚数880枚)ほか、平成25年4月の一括販売に向けて、大学の事務担当者との日程や販売手続き等について協議・調整を行った。さらに、仙台市・仙台市交通局が主催した「魅力いっぱい！交通フェスタ2012」の公共交通震災復興パネル展に、パネルの提供を行った。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	引き続き、せんだいスマートをはじめとする行政の取り組みと連携・協力するとともに、フリーパスの一括販売など交通局独自の取り組みについても積極的に実施する。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	1-⑤
事業名	運行効率上の観点からの民間バス事業者との調整(輸送課運行計画係)
大区分	地下鉄東西線開業を見据えた着実な準備
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	乗合バス事業の規制緩和により需給調整規制が撤廃され、路線への参入及び撤退が自由となっていることから、民間事業者と競合する路線等が生じる場合が考えられる。この場合において両者が調整することによって運行の非効率を排除し、経営の効率化を図る。			
事業内容	民間バス事業者との競合路線等において需要と供給のバランスやネットワークなどの視点から非効率な運行状況となっていないか分析し、必要な調整を行い、運行の効率性を確保する。			
目標	効率性及びサービス水準が低下しないように必要に応じて適切な調整を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・対象事案の発生に応じ 対処する。	・対象事案の発生に応じ 対処する。	・対象事案の発生に応じ 対処する。	・対象事案の発生に応じ 対処する。
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・対象事案の発生無し	・対象事案の発生無し		
二次評価	取り組み対象の事案無し	取り組み対象の事案無し		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	平成23年度においては、民間バス事業者との競合路線等における調整の必要は生じていない。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	平成24年度においては、民間バス事業者との競合路線等における調整の必要は生じていない。		
担当課評価	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
(判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組み対象の事案がなかった		
二次評価	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
(判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組み対象の事案がなかった		
次年度の取組	民間バス事業者の当市への路線への参入等に関する情報収集に努め、参入があるときに、運行の効率性を確保するために、必要な調整を行う。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-①
事業名	安全運行に対する職員の意識と技術の向上(業務課指導係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	交通事業者にとって、お客様を目的地まで安全かつ確実に輸送することは最大の使命であり責務である。そのためには、職員の教育の充実を図り「停車中の事故の根絶」「走行中の事故の抑止」に取り組む必要がある。			
事業内容	ヒヤリハット体験事例の検証や危険予知トレーニングなどを内容とする様々な研修を実施することにより、乗務員の安全に対する意識の浸透や技術の向上を図るなど、事故防止に積極的に取り組み、輸送の安全を図る。			
目標	有責事故を平成26年度までに段階的に25%削減する。過去3年間(平成19～21年度)の10万キロあたり有責事故発生率を基準目標とし、平成23年度においては、0.55件の10%削減とし、平成24年度以降各年度5%削減する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・有責事故発生件数 86件以内 ・10万キロあたり 0.51件以内	・有責事故発生件数 82件以内 ・10万キロあたり 0.48件以内	・有責事故発生件数 81件以内 ・10万キロあたり 0.44件以内	・有責事故発生件数 72件以内 ・10万キロあたり 0.43件以内
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・有責事故発生件数 92件 ・10万キロあたり 0.52件	・有責事故発生件数 100件 ・10万キロあたり 0.55件		
二次評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)		計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)	

※25年度の数値については、総走行距離が伸びたことにより、当初の計画から変更を行っている。

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	事故防止・接客サービス向上研修(184名受講)での危険予知トレーニングや安全だよりの発行による啓発と、営業所対抗事故防止コンクール(年4回)、管理者との意見交換会等を行うとともに、23年度は「停車中の事故の根絶」「走行中の事故の抑止」を重点目標に掲げ、事故防止の高揚を図った。また、事故の原因と内容を分析する事故惹起者研修(2回3名)では、乗務員が事故分析に基づく再発防止の目標を実行する研修を行った。ヒヤリハット事例を職場集会等で報告・確認で情報を共有し、更なる事故防止と安全意識の高揚を図った。さらに乗務員によるPDCA評価を実施し、事故防止と安全意識の高揚を図った。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	事故防止・接客サービス向上研修(160名受講)での危険予知トレーニング等や、営業所対抗事故防止コンクール(年4回)、事業管理者及び安全統括管理者との意見交換会を実施した。7月からは月ごとに最重点項目を定め、「停車中の事故の根絶」に取り組んだ。事故の原因と内容を分析する事故惹起者研修(5回5名)では、乗務員が事故分析に基づく再発防止の目標を実行する研修を行った。ヒヤリハット体験事例を職場集会等での報告や庁舎内掲示による情報の共有化により、更なる事故防止と安全意識の高揚を図った。さらに乗務員によるPDCA評価を実施し、事故防止と安全意識の高揚を図った。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	発進時の転倒事故やドア挟み事故が増えたことから、さらに発生原因の分析を行い、傾向や対策を月ごとの最重点項目に取入れ「停車中の事故の根絶と走行中の事故抑止」に取り組む。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-②
事業名	常時記録型ドライブレコーダーの導入(業務課指導係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	常時記録型ドライブレコーダーを導入することにより、乗務員の安全意識の向上とエコドライブを推進し、事故防止と経費削減を図る。			
事業内容	常時記録型ドライブレコーダーを一部のバス車両へ試験的に導入し、効果分析や機種を選定、導入台数及び導入手法などの検討を行ったうえ、本格導入に移行する。また、ヒヤリハット情報の共有や事故の原因分析にも役立つことから、各種研修等にも活用する。			
目標	平成24年度中に導入手法を決定し、平成25年度からの本格導入へと移行する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・導入手法の検討	・試験導入14両 ・導入手法の決定	・本格導入	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・導入手法の検討 ・実験的搭載10両	指名競争入札の実施及び契約締結 ・14両に試験導入 ・本格導入の検討		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	導入手法を検討するため、「ドライブレコーダー導入計画検討委員会」を開催した。民間企業の協力により、実況営業所の10車両に機器の実験的搭載を行い、冬期間における映像記録データ等の検証を行った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	実験導入した結果を基に「ドライブレコーダー導入計画検討委員会」で機種と導入方法を協議。その後、指名競争入札で業者を選定し、川内営業所14両に試験導入を行い、機器等の検証を行った。		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	ドライブレコーダーの試験導入を行い、機器の検証を計画通り進めている。 川内営業所の残り全車に本格導入を行う。平成26年度以降の導入方法を検討する。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-③
事業名	接客教育の充実による接客サービスの向上(業務課指導係)

大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	お客様を快適に安心して輸送するためには、乗務員の接客サービス向上を図る必要がある。乗務員の接客研修の内容を充実させることにより市バスモニターの評価点数の向上と苦情件数の減少を目指す。			
事業内容	より快適にバスにご乗車いただくため、従来のマニュアルやDVDを活用した研修に加え、お客様視点での接客サービスのあり方を認識させることを目的に、営業車両への添乗研修を実施するなど、乗務員への接客教育を充実させることにより、接客サービスの一層の向上を図る。			
目標	市バスモニター制度の評価(基本的に46点満点)について、目標設定時の平均26.5点を基準に、平成26年度までに20%のアップを目指す。また、年間苦情件数については、平成23年度の目標を47件以内と設定し、平成23年度から各年度5%ずつ、26年度までに20%減を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・市バスモニター制度の評価 平均27.4点以上 ・年間苦情件数 47件以内	・市バスモニター制度の評価 平均28.8点以上 ・年間苦情件数 44件以内	・市バスモニター制度の評価 平均30.2点以上 ・年間苦情件数 42件以内	・市バスモニター制度の評価 平均31.8点以上 ・年間苦情件数 40件以内
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・事故防止・接客サービス研修を年9回実施 ・市バスモニター評価 平均28.1点 ・年間苦情件数 42件	・事故防止・接客サービス研修を年9回実施 ・市バスモニター評価 平均28.3点 ・年間苦情件数 59件		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	事故防止・接客サービス向上研修(184名受講)や接客だより、接客速報の発行による啓発や、苦情者・低評価点数者の添乗指導(64名)を実施し再発防止とレベルアップを図った。また、営業所において主任研修やスキルアップ研修を開催し、乗務員によるPDCA評価を実施し接客の向上を図った。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	事故防止・接客サービス向上研修(160名受講)や接客だより、接客速報の発行による啓発や、苦情者・低評価点数者の添乗指導(117名)を実施し再発防止とレベルアップを図った。また、営業所において主任乗務員研修やスキルアップ研修を開催し、乗務員によるPDCA評価を実施し接客の向上を図った。		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	接客・接遇のレベルアップを図るため「自動車運転者添乗指導要領」に基づく苦情者・市バスモニター低評価点数者の添乗指導や、市バスモニターの評価内容を職員に周知し、苦情件数の抑止と市バスモニター平均点の更なるアップを図る。また、営業所の主任研修やスキルアップ研修において、輸送の安全に関する安全管理規程第6条及び第7条の周知徹底と、乗務員のPDCA評価で接客・接遇の取組みを強化し、接客サービスの向上を図る。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-④
事業名	低公害バス及びノンステップバスの導入(整備課管理係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	自動車排出ガスによる環境負荷の低減を図るとともに、高齢の方や障害を持つ方の乗り降りの負担軽減を目的に、アイドリングストップ装置付きノンステップバスの導入を進める。			
事業内容	新しく購入するバス車両に、国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバスを導入することにより、環境負荷を低減するとともに、利便性及び安全性を向上させ、より市営バスを利用しやすくする。 また、投資額抑制のために導入する中古バス車両について、アイドリングストップ装置付きノンステップバスを基本として導入を進める。			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害バス比率について、平成26年度末までに75.6%を目指す。 ※低公害バス=アイドリングストップ装置付きディーゼルバス、ハイブリッドバス、CNGバス ・低床バス比率について、平成26年度末までに52.7%を目指す。 ※低床バス=ノンステップバス、ワンステップバス 			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	30両導入 ・低公害バス比率 59.9%(累計309両) ・低床バス比率 37.0%(累計191両)	27両導入 ・低公害バス比率 64.6%(累計336両) ・低床バス比率 41.9%(累計218両)	27両導入 ・低公害バス比率 69.8%(累計363両) ・低床バス比率 47.1%(累計245両)	27両導入 ・低公害バス比率 75.6%(累計390両) ・低床バス比率 52.7%(累計272両)
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	30両導入 ・低公害バス比率 59.9%(累計309両) ・低床バス比率 37.0%(累計191両)	27両導入 ・低公害バス比率 63.9%(累計333両) ・低床バス比率 41.8%(累計218両)		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	アイドリングストップ装置付きノンステップバス28両(うち3両は平成22年度予算繰越し分)及びノンステップバス2両(大阪市交通局からの譲渡車両)、計30両を導入した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	アイドリングストップ装置付きノンステップバス25両(うち中古車1両)及びノンステップバス2両(中古車)、計27両を導入した。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	ノンステップバス31両(うちアイドリングストップ装置付き28両)を導入する予定である。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-⑤
事業名	バス待ち環境の向上(輸送課管理係)

大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	「ひとにやさしい」、「まちにやさしい」交通事業を目指す一環として、バス停留所に上屋等を設置し、快適かつ安心してバスを待つ事ができる環境の整備を行う。			
事業内容	上屋の更新や維持管理にかかる経費を削減するため、広告付上屋の設置を進める。 また、県補助事業や公営交通事業協会の「モデル・バス停留所施設設置事業」を活用して、上屋の更新整備を行うとともに電照式バス停標識等の設置を行う。 なお、広告付上屋は、民間事業者の広告収入により設置するため、経済情勢により設置数変動する。			
目標	平成23年度～平成26年度で、広告付き上屋40ヶ所、上屋7ヶ所、電照式バス停留所10ヶ所を整備する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・広告付上屋:10ヶ所 ・上屋:1ヶ所	・広告付上屋:10ヶ所 ・上屋:2ヶ所 ・電照式バス停留所:2ヶ所	・広告付上屋:10ヶ所 ・上屋:2ヶ所 ・電照式バス停留所:4ヶ所	・広告付上屋:10ヶ所 ・上屋:2ヶ所 ・電照式バス停留所:4ヶ所
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・広告付上屋:10ヶ所 (建替及び新設) ・上屋・その他:3ヶ所 (宝くじ1ヶ所、仙台市から移譲2ヶ所)	・広告付上屋:9ヶ所 (建替及び新設) ・補助事業上屋:3ヶ所 (宝くじ1ヶ所、宮城県補助2ヶ所) ・電照式バス停留所:4ヶ所		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	(財)公営交通事業協会(宝くじ)からの寄付により、バス停上屋とベンチを1ヶ所設置した。広告付上屋を10ヶ所設置するとともに、広告付上屋を設置した箇所にあった既存上屋を2ヶ所に、また電照式バス停を3ヶ所に移設した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	広告付き上屋は連結して設置した上屋が1ヶ所があったことから、実質は計画通り10ヶ所設置できた。補助事業を活用した上屋整備・電照式バス停留所は、計画を上回る箇所数の整備を行った。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	今後も引き続きバス停留所に電照式バス停留所標識や上屋等を設置し、快適なバス待ち空間の整備に努める。また、広告付上屋事業を活用した上屋整備も引き続き進める。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(1)-⑥
事業名	「バスちかサポーター」制度の推進(経営企画課営業推進係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	安全・快適なサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	ご自身が通勤・通学・買い物などでバス・地下鉄を利用する際に障害のある方や高齢の方などで困っている方を見かけたら、行き先の案内、手荷物の運搬、乗降の補助などを率先して手助けいただくことにより、バス・地下鉄を利用しやすい環境を構築する。			
事業内容	「バスちかサポーター」の新規募集を継続していくとともに、制度の広報活動、サポーター研修等を積極的に行う。また、新たな活動形態についても検討を行いながらサポーター活動の活性化を図る。			
目標	サポーター活動を活性化させることにより、お客様サービスの向上を図る。また、平成26年度のサポーター登録者数について、400名を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・登録者数250名	・登録者数300名	・登録者数350名	・登録者数400名
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・登録者数219名	・登録者数224名		
二次評価	計画に遅れが生じている (あまり成果が上がっていない)	計画に遅れが生じている (あまり成果が上がっていない)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	新規サポーターの養成研修を10月に2回実施した(制度及び活動の内容、車いす利用者及び視覚障害者介助の研修)。機関紙(サポーター通信)を8月、11月、1月に発行した。また、2月26日はステップアップ研修を地下鉄富沢駅で実施した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	新規募集を9月に行い、県教育委員会と連携し登録に至った高校生25名を含む63名を新たにサポーターとして登録した。また、新規登録者向けの養成研修会(10月)のほか、既存登録者のステップアップ研修(3月)も実施し、定期的に機関紙(サポーター通信)を3回(8月、11月、2月)発行するなど、活動の活性化と支援に努めた。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	サポーター活動の活性化と支援に努めたが、登録者数が目標達成に至らなかった。 教育委員会との連携も深めるなど、新たな取り組みをすすめながら、引き続き機関紙の発行や研修の実施など、サポーターが活動しやすい環境づくりに取り組んでいく。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(2)-②
事業名	お客様のニーズに対応した新たな乗車券の導入(経営企画課企画係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	経営状況の改善のためには、経費削減のみならず、お客様満足度の向上や増客・増収に向けた取り組みが不可欠である。そのための手法の一つとして、利便性の高い乗車券の発売など、お客様にとって利用しやすい乗車券サービスの提供を目指す。			
事業内容	お客様のニーズや利用実態等を踏まえ、特定の年齢層をターゲットにした全線乗り放題の乗車券や、平成27年度に導入を予定しているIC乗車券の機能を活かした利便性の高い乗車券など、新しい乗車券の導入について検討を行う。			
目標	利便性の高い乗車券の発売など、質の高いサービスの提供により、お客様満足度の向上及び増客・増収を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市の事例調査	・他都市の事例調査 ・利用実態の調査、分析	⇒ ※特定の年齢層に向けた乗車券等の導入	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市の事例調査 ・利用実態の調査、分析の準備	・他都市の事例調査 ・利用実態の調査、分析		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	より利便性の高い新たな乗車券の導入に向け、他都市の事例調査を行うとともに、お客様のニーズや利用実態等を把握するための「乗客利用実態調査」(平成24年度実施予定)の準備を進めた。また、平成27年度の東西線開業を見据え、新たな運賃・乗車券の導入についての検討を進めた。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	前年度に引き続き、他都市事例の情報収集を進めるとともに、「バス・地下鉄利用状況調査」の結果を活用し、新たな運賃制度・乗車券等の導入に向けた分析に着手した。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	「バス・地下鉄利用状況調査」の分析を進め、高齢者向けフリーパスの具体的なイメージや、導入時期についての検討を行う。また、東西線開業を見据えて学生フリーパスの見直しを検討する。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(2)-③
事業名	お客様のニーズに対応したダイヤ等の設定(輸送課運行計画係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	利用実態に合わせ、運行便数や運行時刻の調整を行うとともに、ニーズの把握に努め、快適で利用しやすいサービスの提供を行う。			
事業内容	トラフィックレコーダーのデータを分析し、利用状況に一定以上の乖離が見られる路線・系統は、ダイヤ改正において、便数や運行時刻の調整を行う。また、ニーズの把握に努め、そのニーズに基づいた系統変更や増便などのサービス向上策を採算性の観点から見極めながら実施していく。			
目標	お客様の利用実態とニーズに基づいたサービスの実現を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・終発便の延長 ・需給調整 ・北四番丁大衡線開通に合わせた路線の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・終発便の延長 ・需給調整 	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・平日ダイヤ(東仙台営業所線)、土曜ダイヤ(南吉線)、休日ダイヤ(貝ヶ森団地、井土浜線)で終発延長 ・墓園線の休日運行 ・北四番丁大衡線開通に合わせた路線の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日ダイヤ(福田町四丁目線)で終発延長 ・需給調整 		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	平日ダイヤ(東仙台営業所線)、土曜ダイヤ(南吉線)、休日ダイヤ(貝ヶ森団地、井土浜線)で終発延長を行ったほか、葛岡墓園線、いずみ墓園線の休日ダイヤでの通年運行を実施。またフリーパス利用者の増加に伴う通学時間帯での増便を実施した。さらに、北四番丁大衡線開通に合わせた路線の見直しを行った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	平日ダイヤ(福田町四丁目線)で終発延長を行ったほか、フリーパス利用者の増加に伴う通学時間帯での増便を実施した。年度の途中では、北四番丁大衡線開通に合わせた路線再編により不便となった地域の見直しを実施した。混雑する時間帯への増便や要望への対応など、ニーズに対応したサービスの強化を行った。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	お客様の利用状況を把握し、サービスの向上を目指す。特に、学都フリーパス利用者の増加に伴うバス利用拡大について、適正な便数設定の検討を行う。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(2)-④
事業名	ホームページなどを活用した情報配信の充実(経営企画課営業推進係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	お客様がバスを利用しやすくなるよう、交通局ホームページを通じ、市営バスの運行や運賃などの情報を案内し、市営バスの利用者増とイメージアップを図る。			
事業内容	交通局ホームページを通じ、市営バスの運行情報や運賃の案内に加え、各種イベントの開催など、様々な情報をお知らせする。また、「せんだい市バス・地下鉄ナビ」や「どこバス仙台」の運用も行う。			
目標	コンテンツの内容充実により、バスの利用者増とイメージアップを図る。また、平成26年度の交通局ホームページ総アクセス数について、一日平均64,000回を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・ホームページ 総アクセス数 60,000回/日	・ホームページ 総アクセス数 61,000回/日	・ホームページ 総アクセス数 62,000回/日	・ホームページ 総アクセス数 64,000回/日
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・ホームページ 総アクセス数 59,332回/日 ※4/1～17を除く	・ホームページ 総アクセス数 63,434回/日		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる (ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	ホームページ制作ガイドライン及び運用方針により、ホームページの安定的な運用管理に努めた。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	ホームページ制作ガイドライン及び運用方針により、ホームページの安定的な運用管理に努めた。特別ダイヤ等の運行に関する情報、企画乗車券やグッズの発売など、各課からの記事が積極的に掲載されており、アクセス数も順調に伸びてきている。		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	引き続き、ホームページの安定的な運用に努めるほか、平成27年度の地下鉄東西線開業に向けたホームページのリニューアルについて、調査・検討をすすめていく。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	2-(2)-⑤
事業名	「どこバス仙台」のサービスのあり方の検討(輸送課管理係)
大区分	質の高いサービス提供によるお客様満足度の向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	平成18年度から運用してきたバスロケーションシステム「どこバス仙台」について、運用から相当の年月が経過したこと、また、お客様の利便性をより向上させる必要性を踏まえ、将来のシステム更新に向けた検討を行う。			
事業内容	既存システムにおいて、新たな携帯端末(スマートフォン)やブラウザに対応するとともに、将来のシステム更新に向けた検討を進める。更新に向けた検討にあたっては、これまでに寄せられたお客様の声や他事業者における運用状況等を調査するなど、より利便性が向上するようなサービスのあり方についても合わせて検討を進める。			
目標	「どこバス仙台」のサービスのあり方について検討し、方針を定める。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・利便性向上の検討	⇒	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・スマートフォンに対応したシステムに変更した。	・アクセスが集中した場合の対応等を検討		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	ICT企業との連携によりシステムを変更し、平成23年12月20日よりスマートフォンからのアクセスを可能にした。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	・荒天時等アクセスが集中した場合につながりにくい状況がある。この対策としてサーバー容量の拡大等を検討したが、費用対効果や費用負担のあり方を含めたさらなる検討が必要である。		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	・サービスのあり方についてのさらなる調査・検討を進める。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(1)-④
事業名	広告料収入の確保(経営企画課営業推進係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	増客・増収に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	年々の減少傾向に加え、震災の影響により大幅な減収となっている広告料収入について、今後、様々な策を講じ、増収を図っていく必要がある。			
事業内容	他事業者の情報収集などを行い、既存広告媒体の活性化や新規媒体の開発に取り組むほか、既存の広告媒体について、販売方法を工夫するなど、掲出率の向上を目指す。			
目標	平成26年度までに、平成22年度比で6%増収を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・22年度比で6%の減収に抑制	・22年度比で5%の減収に抑制	・22年度比で2%の増収	・22年度比で6%の増収
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・収入金額 139,828千円 22年度比で5.6%の減収	・収入金額 142,778千円 22年度比で3.7%の減収		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	広告媒体ごとに運用の弾力化を図り、割当媒体の在庫分を新たに申込枠として販売するとともに、指定取次人の意見、他事業者の事例を参考に広告媒体の活性化に努めた。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	新規媒体となる大型戸袋ステッカーの運用を開始するなど、新規媒体の開発と既存媒体の運用弾力化を進めるとともに、バス広告の主力であるボディ広告の活性化を図るため、大学等へのダイレクトメールの送付や新規掲出者向けのキャンペーンの実施など、収入の確保に努めた。		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	引き続き、新規媒体の開発や既存媒体の運用弾力化を図るとともに、追加施策の実施についても、積極的に検討を行っていく。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(1)-⑤
事業名	市営バスのイメージアップ(経営企画課営業推進係)

大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	増客・増収に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	オリジナルグッズの作成・販売などにより、市営バスのイメージアップを図るとともに、大規模集客イベントとのタイアップを行うなど、市営バスの利用を促進することにより、増客・増収を図る。			
事業内容	オリジナルグッズの作成・販売や営業所等の施設を見学する「バス・地下鉄親子探検ツアー」を開催する。また、在仙プロスポーツチームや大規模イベントとのタイアップにより、市営バスのイメージの向上や、市営バスの利用促進に努める。			
目標	各事業を着実に実施することにより、局事業のイメージ向上と収入源の確保を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・オリジナルグッズの販売 ・「バス・地下鉄親子探検ツアー」の開催 ・宮城バスまつりへの参加 ・タイアップ事業の実施	・オリジナルグッズの作成、販売 ・「バス・地下鉄親子探検ツアー」の開催 ・宮城バスまつりへの参加 ・タイアップ事業の実施	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・オリジナルグッズの販売 ・「バス・地下鉄親子探検ツアー」の開催 (55組141人参加) ・宮城バスまつりへの参加 ・タイアップ事業の実施	・オリジナルグッズ「市バスストラップ」の作成・販売 ・「親子探検ツアー」の開催 ・宮城バスまつりへの参加 ・タイアップ事業の実施		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	震災の影響により予算の執行を停止したため、新規のオリジナルグッズは作成せず、既存グッズの販売を行った。バス・地下鉄親子探検ツアーの開催(8/2・4)、宮城バスまつりへの参加(9/19)や、東北六魂祭(7/16・17)、みちのくYOSAKOIまつり(10/8・9)とのタイアップ、プロスポーツ団体との連携を図った。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	新たに車両デザインをモチーフにした「市バスストラップ」を作成し、販売を開始した。また、親子探検ツアーの開催(7/24)、宮城バスまつりへの参加(9/15)のほか、「ジョジョ展inS市杜王町」(7/28~8/14)や「みちのくYOSAKOIまつり」(10/6・7)、在仙プロスポーツ団体(「東北楽天ゴールデンイーグルス」及び「仙台ベルフィーユ」)とのタイアップ事業を実施した。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	引き続き、新たなオリジナルグッズの開発や既存グッズの販売を行うとともに、イベントやプロスポーツチームとのタイアップも積極的にすすめていく。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(1)-⑦
事業名	バス事業資産の有効活用(業務課庶務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	増客・増収に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	震災の影響により乗車料収入が大幅に落ち込み、経営状況が悪化している状況を踏まえ、バス事業資産の新たな有効活用を検討し、付帯収入の確保に向け取り組む。			
事業内容	バス待合所や旭ヶ丘バスターミナルなどにおける通信事業者の機器設置にかかる使用料収入の確保など、バス事業資産の新たな有効活用策について検討を行う。			
目標	平成24年度は、営業所のバス待合所等の設置可能な施設に対し、携帯電話・スマートフォン向け公衆無線LANサービス端末(WiFiスポット)の設置を進める。 また、新たな有効活用策について、引き続き検討を行う。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・バス事業資産の新たな有効活用策の検討	・バス事業資産の有効活用	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・仙台駅西口バスプール案内所への通信機器設置協議	・仙台駅西口バスプール案内所及び旭ヶ丘バスターミナル乗車券発売所への通信機器設置 ・岡田出張所用地の一部貸付		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	通信事業者からの提案を受けて、年間使用料及び電気料金の負担を条件に企業財産の目的外使用として許可することを決定した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通信事業者からの申請を受け年間使用料及び電気料金の負担を条件に企業財産の目的外使用として許可した。 ・岡田出張所用地の一部を国土交通省発注の護岸工事施工業者に有償にて貸付を行った。 		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	・通信機器について営業所バス待合所等への設置拡大について検討協議する。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-①
事業名	管理の委託の更なる拡大(輸送課管理係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	経営効率化を図りながら、公営のバス事業を長期的・安定的に維持していくことを目的に管理の委託を更に拡大する。 平成27年度の東西線開業に合わせたバス路線再編に伴う事業量減少を見据えながら、今後の委託の更新や拡大が適切なものとなるように検討・実施する必要がある。			
事業内容	平成18年度から実施してきたバス事業の管理の委託について、平成27年度の東西線開業に合わせたバス路線の再編に伴う事業量減少を見据えながら、事業量の2分の1程度を目安として委託を拡大する。			
目標	平成27年度の地下鉄東西線開業に合わせたバス路線の再編に伴う事業量の減少と定年などによる退職者数等を勘案し、事業量の2分の1程度を目安として委託範囲を拡大する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・東仙台営業所における委託拡大	・東仙台営業所における委託拡大	・更なる委託拡大	・更なる委託拡大
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・東仙台営業所における委託拡大 ・白沢出張所委託更新	・東仙台営業所等での委託拡大 ・新寺出張所の契約更新 ・霞の目営業所の新規契約		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	東仙台営業所における委託を拡大した。ただし、東日本大震災の影響により、実施日は年度当初から6月1日へと変更した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東仙台営業所、白沢出張所、新寺出張所、七北田出張所において委託の事業量を拡大した。 ・24年度末で契約期間が終了する新寺出張所の契約を更新した。 ・第5次委託として霞の目営業所の一部を委託する契約を締結した。 			
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)			
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)			
次年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・霞の目営業所の委託事業量を拡大する。 			

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-②
事業名	管理の委託契約の見直し(輸送課管理係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	震災の影響により悪化した経営状況を改善するため、経費の大きな部分を占めるバス運転業務等の管理の委託にかかる委託料について、更なる経費の削減を図る。			
事業内容	今後、更新時期を迎える管理の委託契約について、更新に合わせて、バス車両清掃業務の内容を見直すなど、更なる経費の削減を図る。			
目標	局直営業務の見直しと合わせた委託業務内容の見直しにより、委託料の削減を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・委託業務内容見直しの検討	・委託業務内容見直し	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・方針の決定及び現受託事業者への説明	・新規(更新)契約時に見直した仕様にて契約を締結		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	管理の委託事業についても、局直営業務と同様の内容に見直しをする方針を決定した。実施時期については、次期契約更新時からとした。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	・新寺出張所の業務委託契約(更新)及び霞の目営業所の業務委託契約(新規)において、バス清掃業務の仕様を変更した。		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	・七北田出張所契約更新時に仕様を見直す。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-③
事業名	バス車両整備業務の委託推進(整備課管理係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	経費削減のため、バス車両整備業務の委託を推進することにより費用の削減を図る。			
事業内容	バス車両整備業務については、経費削減の観点から、これまで段階的に外部への委託を進めてきたが、平成24年度に長町整備工場を委託することにより、バス車両整備業務の全てを委託する。また、今後の車両整備業務のあり方など、委託内容の見直しについて検討を行う。			
目標	全ての整備工場において委託を実施し、バス車両整備にかかる経費を削減する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・長町整備工場の委託化の準備	・長町整備工場の委託実施 ・委託内容見直しの検討	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・長町整備工場の委託化の準備	・長町整備工場の委託実施 ・今後のバス車両整備業務委託のあり方について検討		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	長町整備工場の委託化の準備を進めるとともに、東仙台整備工場を東仙台営業所の管理の受託者である宮城交通㈱に委託することとし、契約を締結した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	年度当初から長町整備工場の業務を仙台交通㈱に委託するとともに、東仙台整備工場の業務を東仙台営業所の管理の受託者である宮城交通㈱に委託した。 また、車両整備に係る経費削減に向けた具体的な整備業務のあり方について検討を行なった。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	今後のバス車両整備業務委託のあり方について引き続き検討を行なう。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-④
事業名	バス車両修繕業務等の見直し(整備課管理係)

大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	震災の影響により悪化した経営状況を改善するため、バス車両修繕業務等を見直し、経費を削減する。			
事業内容	バス車両修繕業務について、車両状態調査や故障履歴の分析等を実施することにより、車検や一般整備で必要となる各種部品等の交換周期などを見直す。また、バス車両の清掃業務委託について、他都市の事例を調査・比較しながら、これまでの委託契約内容を見直すなど、経費の削減を図る。			
目標	修繕にかかる部品等の交換周期等を見直しを行うことにより、また、車両清掃業務にかかる委託契約内容を見直すことにより、経費の削減を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕にかかる部品等の交換周期等を見直しの検討 ・車両清掃業務にかかる他都市の事例調査 ・委託契約内容見直しの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕にかかる部品等の交換周期等を見直しの検討・実施 ・委託契約内容見直し 	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕にかかる部品の交換周期等を見直しの検討 ・車両清掃業務にかかる他都市の事例調査 ・委託契約内容見直しの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕にかかる部品の交換周期等を見直しの検討・実施 ・委託契約内容見直しの実施 		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	修繕にかかる部品の交換周期等を見直しを検討し、見直し候補項目を選択した。 また、バス車両清掃業務にかかる他都市の事例を調査し、業務委託契約内容を他都市と比較し見直しを検討した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕にかかる部品のオーバーホール、交換周期を見直し、安全性に問題のない範囲で延長した。 ・バス車両清掃業務の仕様を見直し、日常清掃の実施回数を週4回から週3回に減らしたことにより、経費削減を図った。 		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	引き続き修繕にかかる部品の交換周期等を見直しを検討するとともに、バス車両清掃業務にかかる委託契約内容の見直しを検討する。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑤
事業名	バス車両にかかる投資額抑制に向けた検討(整備課管理係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	震災の影響により悪化した経営状況を踏まえ、今後ますます増加するバス車両の更新について、更新車両の一部に中古バス車両を導入するなど、車両にかかる投資額を抑制する。			
事業内容	これまで最長使用年数を20年としてきたバス車両について、今後、更新時期を迎える車両が増加する。投資額の抑制を図りながら、車両を確保するという観点から、中古バス車両を導入する。また、保有車両全般にわたる調査を実施することで、より詳細な車両状態を把握し、その状態に応じて適宜使用年数を延長するとともに、大規模な車両修繕の実施についても検討を行う。			
目標	平成24年度以降、中古バス車両を本格導入し、各年度3両以上の導入を目指す。また、車両状態調査の結果を踏まえ、その状態に応じた適切な、車両使用年数の延長を行う。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・車両状態調査の実施 ・他都市の廃車予定等調査	・中古バス車両3両導入	⇒	⇒
			※3両以上の導入を目指す。	※3両以上の導入を目指す。
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・車両状態調査の実施 ・他都市の廃車予定等調査 ・中古車両導入検討会を3回開催	・中古バス車両3両導入 ・車両状態調査による車両の延命		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	6～7月に他都市の廃車予定等について調査を実施した。7～8月に中古車両導入検討会を3回開催し、中古バス車両を導入する方針を策定した。 また、7～8月に車両状態調査を実施した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	中古バス車両3両を導入した。 また、23年度の車両状態調査の結果を受けて、使用年数の延長のための大規模な車両修繕を実施しないこととしたことを踏まえ、24年度は5月～7月に実施した車両状態調査により把握した結果を反映した適切な整備を行うことにより既存車両の延命を図った。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	引き続き中古バス車両を導入する予定である(3両以上の導入を目指す。)。また、車両状態調査を実施し、引き続き車両状態の把握に努める。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑥
事業名	乗務員の労働条件の見直し(総務課労務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	乗務員の労働条件を見直し、費用のうち最も大きな部分を占める人件費の削減を図る。			
事業内容	市営バス事業は、費用の半分以上を人件費が占める典型的な労働集約型の事業であるため、安全な運行を維持しつつ、労働条件を見直し、乗務員一人あたりの労働生産性を引き上げるなど、人件費の削減を図る。			
目標	休憩時間を廃止するなど、ダイヤ編成の柔軟性を向上させ、営業路線にかかる経費の低減を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・休憩時間等の労働条件に関する組合との協議	組合との合意内容等に基づき順次実施	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・震災復興に向けた財源確保のため、給与減額の交渉を行った。	国の動きを踏まえ、退職手当の引下げに係る交渉を行った。		
二次評価	計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	震災復興に向けた財源確保のための給与減額や、平成25年度からの管理の委託の拡大など、緊急性・優先度の高い案件について交渉等を行った。 このため、本計画で想定している労働条件の見直しについては、継続協議中となっている。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	平成25年度からの管理の委託の拡大など、緊急性・優先度の高い案件について交渉等を行った。 このため、本計画で想定している労働条件の見直しについては、継続協議中となっている。		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input checked="" type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input checked="" type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	地下鉄東西線の開業に伴うバス路線再編等の影響も考慮しながら、労働条件の見直し策を検討し、労働組合との協議を進める。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑦
事業名	庁舎における電気・ガス・水道使用量の節減（財務課管財係、業務課庶務係） 営業所・出張所分
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	交通局庁舎・営業所・出張所において使用する電気・ガス・水道使用量を節減し、経費の削減と環境負荷の低減を図る。			
事業内容	冷暖房機器の適正な運転管理の徹底、省エネタイプの照明灯への交換などを行い、電気・ガス使用量を節減するとともに、洗車基準等の見直しによる水道使用量の節減を図る。また、平成23年度に実施した夏季の節電の取り組みにより、電気・ガスの使用量を削減した実績を踏まえ、平成24年度以降も可能な節電対策等を引き続き継続する。			
目標	節電に向けた取り組みにより、電気使用量については各年度10.0%の減（平成22年度比）、ガス使用量については各年度3.0%の減（平成22年度比）を目指す。また、水道使用量については、平成26年度までに2.0%の減（平成22年度比）を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 0.5%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 1.0%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 1.5%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 2.0%の減
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・22年度比で 電気 11.5%の減 ガス 2.8%の増 水道 0.6%の減	・22年度比で 電気 9.2%の減 ガス 0.4%の増 水道 8.1%の増		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる（ほぼ成果が上がっている）		計画に遅れが生じている（あまり成果が上がっていない）	

※平成23年度のガス使用量については、機器の故障等による減少分を除く。

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	夏季の節電に向けた取り組みなどにより、電気・水道使用量について、節減を図った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	前年度に引き続き、夏季の節電に向けた取り組みなどにより、電気・ガス・水道使用量について、節減を図った。		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
	夏季における節電に向けた取り組みなどを営業所・出張所において実施し、電気使用量についてはほぼ目標を達成したが、ガス・水道については、目標を達成できなかった。		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
	電気使用量についてほぼ目標を達成したが、ガス・水道について目標達成できなかった。		
次年度の取組	平成25年度以降においても、引き続き電気・ガス・水道の節減に向けた取り組みを実施する。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑦
事業名	庁舎における電気・ガス・水道使用量の節減(財務課管財係、業務課庶務係) 本庁舎分

大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	交通局庁舎・営業所・出張所において使用する電気・ガス・水道使用量を節減し、経費の削減と環境負荷の低減を図る。			
事業内容	冷暖房機器の適正な運転管理の徹底、省エネタイプの照明灯への交換などを行い、電気・ガス使用量を節減するとともに、洗車基準等の見直しによる水道使用量の節減を図る。また、平成23年度に実施した夏季の節電の取り組みにより、電気・ガスの使用量を削減した実績を踏まえ、平成24年度以降も可能な節電対策等を引き続き継続する。			
目標	節電に向けた取り組みにより、電気使用量については各年度10.0%の減(平成22年度比)、ガス使用量については各年度3.0%の減(平成22年度比)を目指す。また、水道使用量については、平成26年度までに2.0%の減(平成22年度比)を目指す。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 0.5%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 1.0%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 1.5%の減	・22年度比で 電気 10.0%の減 ガス 3.0%の減 水道 2.0%の減
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・22年度比で 電気 11.5%の減 ガス 2.8%の増 水道 0.6%の減	・22年度比で 電気 8.1%の減 ガス 14.8%の減 水道 6.6%の減		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	

※平成23年度のガス使用量については、機器の故障等による減少分を除く。

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	夏季の節電に向けた取り組みなどにより、電気・水道使用量について、節減を図った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	交通局庁舎における電気・ガス・水道使用量について、節減を図った。	
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
	電気使用量については目標を達成できなかったものの、ガス・水道の使用量については目標を達成した。	
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
	電気使用量については目標を達成できなかったものの、ガス・水道の使用量については目標値を上回る節減となった。	
次年度の取組	平成25年度以降においても、引き続き電気・ガス・水道の節減に向けた取り組みを実施する。	

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑧
事業名	被服貸与の見直し(総務課労務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	経費の削減を図るため、乗務員へ貸与している被服に関する見直しを行う。			
事業内容	乗務員等へ貸与している被服について、その使用実態に応じた制度の見直しを行い、被服にかかる経費を削減する。			
目標	被服の使用実態や事業の進捗に即した合理的な貸与を行うとともに、使用年数の延長や貸与品の精選等により、被服にかかる経費の削減を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・見直しに関する組合との協議	・組合との合意内容等に基づき順次実施	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・見直しの検討を行い、素案を作成した。	・組合への提案に向け、見直し案を精査した。		
二次評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	被服貸与の見直しについて内部検討を進め、素案を作成したが、労働組合への提案には至っていない。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	被服貸与の見直しについて内部検討を進め、組合への提案に向けて見直し案を精査した。		
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	局内での最終調整を経て、平成25年度の早い段階で組合との協議を開始する。		

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑨
事業名	外郭団体委託業務の見直し(総務課総務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	平成26年度からのIC乗車券の導入並びに平成27年度の地下鉄東西線開業(以下、「新規事業」)に伴い、外郭団体に委託している業務の内容及び業務量の変動が予測されることから、現在委託している業務も含め、委託内容のあり方について検討を進める。			
事業内容	新規事業導入時の委託業務量の調査と、現在の委託内容を把握することで、全体的な委託のあり方を検討する。			
目標	適切な業務委託を行うことにより、経費削減に繋げる。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・新規事業における委託業務の検討 ・全体的な業務委託のあり方検討	⇒	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・新規及び既存事業における委託業務のあり方について検討	・新規及び既存事業の業務量把握 ・一部事業の契約方法の見直しを行った。		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	新規及び既存事業における委託業務のあり方について検討を行った。
------	--------	---------------------------------

平成24年度

実施状況	現在の外郭団体への委託業務について見直しの方向性を整理し、次年度以降の契約方法について調整を行った。
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	東西線開業を見据えた人員計画の精査を行う。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑩
事業名	営業所等の維持管理業務委託にかかる契約方法の見直し(業務課庶務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	営業所等の維持管理業務委託に、競争入札制度や複数業者による見積り合わせを導入し、経費節減を図る。			
事業内容	これまでの特命随意契約を可能な限り見直し、競争入札制度の導入や複数業者による見積り合わせを実施する。			
目標	経常的に必要となる業務委託ではあるが、これまでの仕様を見直し、競争入札制度の導入や複数業者による見積り合わせを実施して経費削減を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・維持管理業務委託にかかる契約方法見直しの検討	・維持管理業務委託にかかる契約方法見直しの検討・実施	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・平成24年度 9件を競争入札や複数業者による見積り合わせに変更した。	・平成24年度の委託契約については9件を競争入札や複数業者による見積り合わせで実施した。		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	震災対応として平成23年度に随意契約とした業務(営業所等警備業務等6件)を含めて、平成24年度に9件を競争入札や複数業者による見積り合わせに変更した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	営業所等警備業務などの9件の委託業務について、競争入札や複数業者による見積り合わせを実施し契約を締結した。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	引き続き少額の各課契約対象業務についても、見積り合わせ等価格競争で業者を決定する。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑪
事業名	カード乗車券の委託販売手数料の見直し(業務課庶務係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	交通局発行のカード乗車券(市バス・スキップ・ジョイカード)の委託販売にかかる売上高が増加し、交通局が委託発売先へ支払う販売手数料が増加しているため、その経費節減を目指す。			
事業内容	交通局で発行しているカード乗車券にかかる委託販売手数料(率)を見直し、経費節減を目指す。			
目標	平成24年度中に、委託販売先と委託販売手数料(率)の見直しについて協議を完了し、委託販売契約を変更する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・委託販売手数料見直しの検討	・委託販売手数料の見直し	_____	_____
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・委託販売手数料(率)引き下げ方針の決定	・委託販売手数料(率)を2段階で引き下げ契約締結を行った。	_____	_____
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	委託販売手数料(率)の引き下げについて、委託販売先に対し変更協議の文書を送付するなど、協議を開始した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	委託販売手数料(率)の引き下げについて、委託販売先に対し変更協議を行い、引き下げの方針について合意の上、委託販売先との変更契約を締結した。	
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
次年度の取組	委託販売手数料の見直しの協議を進め、計画通り変更契約を締結した。	

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(2)-⑫
事業名	任意保険料の削減(業務課指導係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	経費削減に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	震災の影響により悪化した経営状況を改善するため、バス車両の任意保険にかかる保険料を削減する。			
事業内容	バス車両の任意保険契約について、更なる安全運行の徹底に加え、競争入札制度の導入に向けた検討を行い、任意保険料の削減を図る。			
目標	平成24年度から競争入札を導入する。また、3年毎に競争入札を実施する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市における事例調査 ・競争入札制度導入の検討	・他都市における事例調査 ・競争入札制度導入	—————	—————
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・他都市における任意保険加入状況調査 ・競争入札制度導入の検討	・他都市における事例調査実施 ・指名競争入札実施した	—————	—————
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる (ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	他都市の任意保険加入状況を調査し、競争入札制度導入の検討を行った。
------	--------	-----------------------------------

平成24年度

実施状況	指名競争入札(8社)を行い、落札者と契約締結し、任意保険料を削減した。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	計画通り競争入札を導入し、任意保険料の削減を図った。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(3)-①
事業名	乗務員の確保などの検討(総務課人事係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	組織の活性化に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	今後10年間で、現在在籍する正職乗務員の約半数が定年退職を迎えることとなり、今後安定的に事業を継続していくためには、職員の年齢構成の均等化や管理職候補の育成を考慮した採用時期・採用手法の検討が必要である。			
事業内容	将来の事業規模などを考慮し、不足する乗務員数を見極めたうえで、新たな乗務員の採用と育成に向け、採用規模や採用手法などについて検討を行う。			
目標	確実に事業に必要な人員を確保する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・採用規模・採用手法の検討	⇒	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・現状分析及び将来予測結果を踏まえた採用時期等の検討	・現状分析及び将来予測結果を精査するとともに、他都市の状況等も踏まえた採用手法等の検討を実施		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	現状分析及び将来予測データを作成し、考え得る採用時期、規模等について検討した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	現状分析及び乗務員数の将来予測データを精査するとともに、他都市の状況等について調査を実施した。	
担当課評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
二次評価 (判断理由)	<input type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
次年度の取組	雇用条件等を整理し、雇用形態等について検討を進める。	

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(3)-②
事業名	業務への意欲を高める取り組み(総務課総務係、業務課指導係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	組織の活性化に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	職員の業務に対する意欲を高め組織を活性化させることにより、業務能率の向上及び利用者に対するサービスの向上等を図る。			
事業内容	業務改善意見提案制度の活用により、職員からの意見を事業運営に反映させていくとともに、接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員を表彰するなど、職員一人ひとりの業務への意欲を高める取り組みを行う。			
目標	業務の効率化や利用者サービスの向上を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・業務改善意見提案の募集 ・接客サービスなど優秀な職員の表彰	⇒	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・業務改善意見提案:14件 ・年間接客優秀者管理者表彰 11/11(20名) ・職員バスモニター自動車部長表彰2回 10/28(47名)、3/2(50名)	・業務改善意見提案:8件 ・年間接客優秀者管理者表彰 11/13(18名) ・職員バスモニター自動車部長表彰2回 11/1(48名)、3/1(53名)		
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	業務改善意見提案の募集に14件の応募があった。また、年間接客優秀者管理者表彰を1回(20名)、職員市バスモニター自動車部長表彰を2回(97名)実施した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	業務改善意見提案の募集に8件の応募があり、優れた改善評価を得た3提案を表彰した。表彰された提案については、各提案部署がそれぞれに導入し、業務処理の効率化を図っている。また、年間接客優秀者管理者表彰を1回(18名)、職員市バスモニター自動車部長表彰を2回(101名)実施した。	
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)	
次年度の取組	引き続き業務改善意見提案を募集する。また表彰制度を継続し、接客サービスの向上を図る。	

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	3-(3)-③
事業名	良好なコミュニケーションの確保(業務課指導係)
大区分	経営基盤の強化に向けた積極的な施策展開
中区分	組織の活性化に向けた取り組み

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	経営のトップから乗務員一人ひとりに至るまで、安全意識に対する認識を高めるためには、良好なコミュニケーションの場が必要である。管理部門と乗務員との意見交換会を実施し、安全に関する心構え・実践事項・意見・提案などを聞くとともにコメントすることにより意識の高揚を図る。			
事業内容	乗務員などの現場職員と管理部門の職員との意見交換会の場や、乗務員同士の議論の場を定期的に設けるなど、安全確保や健康管理等について、日頃から情報交換がしやすい職場環境をつくり、良好なコミュニケーションを確保する。また、悩み相談などへの対応も強化し、職員が心身ともに充実した状態で働けるような環境づくりを進める。			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者・安全統括管理者と乗務員の意見交換会 年2回 ・自動車部各課と乗務員との意見交換会 年2回 ・営業所長・主幹と乗務員との意見交換会(職場研修会) 月1回 			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・乗務員との意見交換会の実施 ・職場研修会の実施 	⇒	⇒	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者・安全統括管理者との意見交換会 8/29(実況) ・自動車部各課との意見交換会 9/9(川内) ・各営業所職場研修会 毎月1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者・安全統括管理者との意見交換会 7/18(霞の目)・10/18(川内) ・自動車部各課との意見交換会 7/31(長町)・10/30(実況) ・各営業所職場研修会 毎月1回 		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	輸送の安全に関する計画に基づき、事業管理者・安全統括管理者と乗務員との意見交換会を1回、自動車部と乗務員との意見交換会を1回開催した。また、営業所長・主幹と乗務員との意見交換会を営業所において開催した。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	輸送の安全に関する計画に基づき、事業管理者・安全統括管理者と乗務員との意見交換会を2回、自動車部と乗務員との意見交換会を2回開催した。また、営業所長・主幹と乗務員との職場研修を営業所において月1回開催した。緊急性のあるものについては、随時ミニ集会等を開催し、安全運行や事故防止について情報の共有を図った。
担当課評価(判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価(判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	次年度も事業管理者・安全統括管理者との意見交換会は2回開催する。自動車部各課との意見交換会は2回開催する。営業所長・主幹と乗務員との職場研修は定期的に月1回以上開催する。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	4-①
事業名	災害時における運行体制の確保(追加)(業務課庶務係・業務課指導係・輸送課運行計画係)

大区分	市営バスとしての災害対応力の強化
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	東日本大震災においては、通行困難な箇所が発生、ガソリン不足による職員の出勤状況の低下により、仕業ダイヤに基づく運行ができず、非効率な勤務体制となった。このことを踏まえ、災害時における効率的な市営バスの運行体制の確保に向けた取組みを行う必要がある。			
事業内容	東日本大震災では、バス燃料のみならず乗務員が通勤で使用する車両の燃料確保も困難となり、乗務員の勤務体制が整わなくなるなど、バスの運行に大きな支障が生じた。このことを踏まえ、従来の災害時における燃料供給協定を見直し、燃料供給ルートの多重化を図るほか、緊急時における乗務員の通勤手段の確保に取り組む。さらに、乗務員の出勤状況や道路状況に応じて効率的な運行体制が迅速にとれるように、あらかじめ緊急時特別ダイヤを設定するなど、災害時における市営バスの運行体制の確保に向け、関係機関等と連携しながら進める。			
目標	平成23年度は、緊急時の乗務員の通勤手段確保のため、巡回バスの運行や近隣に住む乗務員同士が相乗りで出勤できる体制を構築する。また、休日ダイヤより低い出勤率でも全線での運行がカバーできる緊急時特別ダイヤの設定を行う。 平成24年度は、これまでの宮城県石油商業協同組合との災害時における燃料供給協定を見直し、燃料供給ルートの多重化を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・バス車両等にかかる燃料供給協定見直しの検討 ・緊急時の乗務員の通勤手段の確保 ・緊急時特別ダイヤの設定	・バス車両等にかかる燃料供給協定見直し	—	—
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・燃料供給協定の見直しの協議 ・緊急時の乗務員の通勤手段の確保について検討 ・緊急時特別ダイヤの設定	・バス車両等にかかる燃料供給協定を見直し、あらためて協定を締結した。	—	—
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	・宮城県石油商業協同組合との燃料供給協定の見直しの協議を行った。(業務課庶務係) ・緊急時の乗務員の通勤手段として、相乗り出勤及び巡回バス運行などについて検討を行った。(業務課指導係)
------	--------	---

平成24年度

実施状況	・宮城県石油商業協同組合との協定について、供給協力店を加盟組合員に拡大し、また、供給対象とする燃料の種類についても明確にしたうえで燃料供給協定を締結した。(業務課庶務係)
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	計画通り宮城県石油商業協同組合との災害時における燃料供給協定を見直し、燃料供給ルートの多重化を図ることができた。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	4-②
事業名	災害に強い通信手段の確保(業務課庶務係)
大区分	市営バスとしての災害対応力の強化
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	災害時に多くの通信手段が使用できなくなる事態を想定し、直接通信可能な災害に強い通信手段を確保することにより、災害対応力の強化を図る。			
事業内容	本局・営業所・出張所間で直接通信可能な業務用無線局を開設。			
目標	平成24年度に本局・営業所・出張所間で直接通信可能な業務用無線局を開設し、25年度以降に連絡車及びバス車両への増設を検討する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・業務用無線局開設の検討	・業務用無線の導入	・業務用無線増設の検討	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・停電でも直接通信が可能な「業務用無線」9台の設置を決定した。 (業務課・5営業所・3出張所)	・停電でも直接通信が可能な「業務用無線」9台を設置した。 (業務課・5営業所・3出張所)		
二次評価	計画通り進んでいる (成果が上がっている)	計画通り進んでいる (成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	東日本大震災時における有線電話や携帯電話の発信規制等によって営業所等との情報伝達が困難になった経験を踏まえて、平成24年度に本局・営業所・出張所間で直接通信可能な業務用無線局を開設することを決定した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	東日本大震災時における有線電話や携帯電話の発信規制等によって営業所等との情報伝達が困難になった経験を踏まえて、本局・営業所・出張所間で直接通信可能な業務用無線局を開設した。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	連絡車等への増設について検討する。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	4-③
事業名	災害時における情報提供体制の充実(業務課庶務係)
大区分	市営バスとしての災害対応力の強化
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	東日本大震災からしばらくの間、ホームページでの情報提供に遅れが生じたり、バスロケーションシステムが使えないなど、多くのお客様に不便をかけたことを踏まえ、災害時において多くのお客様に対し迅速かつ詳細な情報提供ができるような体制を構築する必要がある。			
事業内容	東日本震災からしばらくの間、臨時ダイヤでの運行や一部路線での迂回運行等を余儀なくされたが、この間、ホームページでの情報提供に遅れが生じたり、バスロケーションシステムや市バス・地下鉄ナビが使えないなど、多くのお客様に不便をかけた。今後、非常時における情報提供について、テレビ局やコミュニティFM局を含めたラジオ局等の協力を求めるとともに、案内センター機能を強化するなど、迅速な対応が出来る体制を構築する。			
目標	平成24年度までに、市内コミュニティFM3局(株)仙台シティエフエム、仙台泉エフエム(株)、エフエムたいはく(株)に対して、地域ごとの詳細な運行情報の提供の協力を求め、放送要請(協力)に関する覚書を締結する。また、非常時における案内センターの人員体制を構築するなど、案内センター機能の強化を図る。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への情報提供体制の検討 ・案内センター機能強化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への情報提供体制の構築 ・案内センター機能強化 	—	—
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・放送要請(協力)に関する覚書について協議 ・交通局案内センター等の電話回線を最大限活用できるよう、運営体制を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・放送要請(協力)に関する覚書を締結 ・交通局案内センター等の電話回線を最大限活用できるよう、運営体制の見直しを図った 	—	—
二次評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		計画通り進んでいる(成果が上がっている)	

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	市内コミュニティFM3局(株)仙台シティエフエム、仙台泉エフエム(株)、エフエムたいはく(株)に対して、地域ごとの詳細な運行情報の提供の協力を求め、放送要請(協力)に関する覚書の締結について協議を進めた。また、交通局案内センター等の電話回線を最大限活用できるよう、災害時におけるセンターの運営体制について検討を行った。
------	--------	---

平成24年度

実施状況	市内コミュニティFM3局(株)仙台シティエフエム、仙台泉エフエム(株)、エフエムたいはく(株)に対して、地域ごとの詳細な運行情報の提供の協力を求め、放送要請(協力)に関する覚書を締結した。また、交通局案内センター等の電話回線を最大限活用できるよう、発災時は朝と夕方の業務時間を拡大するとともに、案内センター及び交通局回線が塞がらないように自動車部及び高速電車部の対策本部に転送する運用とするなど、災害時におけるセンターの運営体制について見直しを図った。
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)
次年度の取組	放送要請(協力)に関する覚書を締結したほか、案内センターの運営体制の見直しを計画通り進めた。

仙台市自動車運送事業経営改善計画【改訂版】・個別計画管理シート

1. 個別計画事業名

事業番号	4-④
事業名	災害訓練の実施(業務課指導係)

大区分	市営バスとしての災害対応力の強化
中区分	—

2. 個別計画の概要

事業目的、必要性	バス車両の集団災害対応訓練に合わせ、情報収集伝達訓練、救護訓練等を実施することにより、関係職員の行動を確認し、検証することにより、今後の事故対応体制の強化及び行動基準の見直しに資することを目的に行う。			
事業内容	今後、大規模な災害が発生した際、交通事業者としてより適切な対応が取れるよう、独自災害対応訓練や、消防等と協力しながら行う集団災害対応訓練を定期的実施する。			
目標	平成24年度に、集団災害対応訓練を各関係機関と協議し実施する。また、随時、独自災害対応訓練(非常用発電機稼働訓練等)を実施する。			
年次計画	23年度	24年度	25年度	26年度
	・集団災害対応訓練内容の検討	・集団災害対応訓練 ・独自災害対応訓練	・独自災害対応訓練	⇒
事業実績(実績値)	23年度	24年度	25年度	26年度
	・消防局等と合同での集団災害対応訓練の協議 ・北山トンネルにおける災害訓練実施(3/6) ・各営業所で非常用発電機稼働訓練の実施	霞の目営業所において、若林消防署と合同で、集団災害対応訓練実施(10/29) ・各営業所で非常用発電機稼働等独自災害対応訓練の実施		
二次評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)	計画通り進んでいる(成果が上がっている)		

3. 事業の進行状況及び評価

昨年度以前分

実施状況	平成23年度	消防局等と合同での集団災害対応訓練の実施に向けた協議を行った。また、平成24年3月、北山トンネル開通に先立ち、消防局等と合同でトンネル災害時の消火、救助及び多数負傷者対応等、円滑な活動と連携を図る目的で、バス車両を使用した訓練を実施した。各事業所において、災害対応訓練時に非常用発電機稼働訓練を実施した。
------	--------	--

平成24年度

実施状況	救助及び多数負傷者対応等、円滑な救助活動や連絡体制等を検証する目的で霞の目営業所において、若林消防署及び若林地区防火クラブ等と合同で、バス車両を使用した集団災害対応訓練を実施した。また、各営業所において、独自災害対応訓練時に非常用発電機稼働訓練等を実施した。		
担当課評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
二次評価 (判断理由)	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進んでいる(成果が上がっている) <input type="checkbox"/> ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている) <input type="checkbox"/> 計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない) <input type="checkbox"/> 計画が滞っている(全く成果が上がっていない)		
次年度の取組	引き続き営業所で独自災害対応訓練(非常用発電機稼働訓練等)を実施する。		